

研修会

健康スポーツ文化都市宣言に伴う施策について

●都市宣言の概要

副市長

●スポーツの振興施策

自然経済推進部長

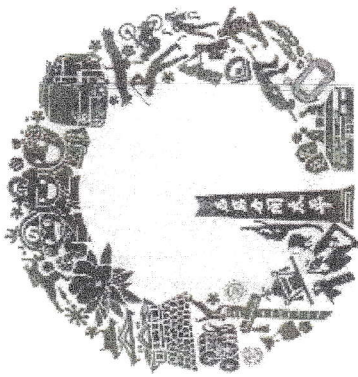
●文化の振興施策

生涯学習部長

●福祉の振興施策

福祉部長

健康スポーツ文化都市
Well-being Sports Culture City



野田市

令和5年6月18日（日） 自治会長会議 市役所8階大会議室

●都市宣言の概要

健康スポーツ文化都市宣言について

健康スポーツ文化都市宣言

令和5年4月1日

健康は、わたしたち野田市民すべての願いであり、まちの活力の源です。生涯にわたり豊かに生き生きと健やかな生活を送るため、心身ともに健康を維持します。さらに、先人が培ってきた歴史や文化、豊かな自然に誇りを持ち、障がいのある人もない人も、子どもから大人まで、すべての人々がスポーツや文化活動を通じて、人と人との交流を深め、豊かな心とからだを育み、「夢のある住みよいまち」、「元気で明るいまち」を築けるまち」を目指し、ここに『健康スポーツ文化都市』を宣言します。

- 1 健康への関心を持ち、スポーツに親しみ、豊かな心とからだをつくりまします。
- 1 郷土の歴史や伝統を学び、恵まれた文化や豊かな自然に誇りを持ち、次世代に繋いでいきます。
- 1 健康を維持し、スポーツや文化活動を通じて、人間力の向上を図り、人づくり、まちづくりに繋げ、明るく生き生きとした地域の輪を広げまします。



健康スポーツ文化都市宣言の目的

野田市が目指す「夢のある住みよいまち」、「元気で明るい家庭を築けるまち」の実現には、市民の皆様が「健康」であることが前提です。「健康」は、わたしたち野田市民すべての願いであり、まちの活力の源であります。また、昨今の社会情勢や生活環境の変化に伴い、これから必要となるものが人間力、言い換えれば、社会を力強く生きていくための総合的な力を身につけていく必要があります。

そこで、日々の生活を健康に過ごし、子どもから大人まで、障がいのある人もない人も、スポーツや文化活動を通じて人間力の向上を図り、これを人づくり、まちづくりにつなげていこうと、本年4月1日に「健康スポーツ文化都市」を宣言しました。

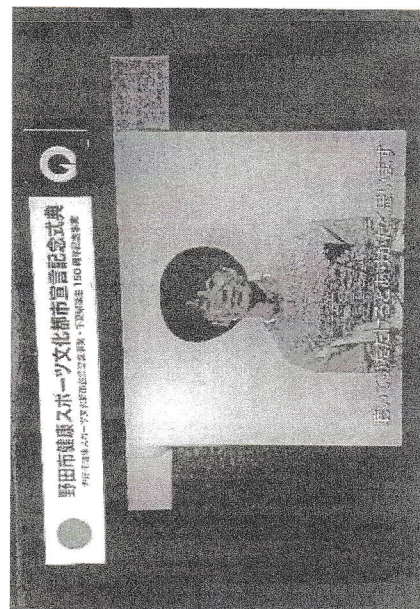


健康スポーツ都市宣言 式典【令和5年5月3日】

子どもから大人まで、障がいのある人もない人も すべての市民が対象

●スポーツや文化活動を通じた人と人との交流、コミュニケーション

●スポーツや文化活動を通じた人づくり、まちづくり



●スポーツの振興施策

これからの野田市のスポーツの推進に向けて



スポーツ Sports

(第3次野田市スポーツ推進計画)

「スポーツの力」で実現する 健康スポーツ文化都市 野田

- スポーツは、「する」「することによって楽しさや喜び、努力、向上心を生みます。「みる」ことによって感動や充足感を生みます。「ささえる」ことによって、思いやりや連帯感を生みます。こうした「スポーツの力」が、我々の生活や社会に活力を与えます。
- 障がいのある人もない人も、子どもから大人まで市民一人一人がスポーツによって健康で活力にあふれることにより、スポーツを通じた交流が生まれ、交流が野田市独自の文化へと深化し、将来を担う子どもたちへ継承していく。また、この流れの中で、一人一人が人間力を高めたい。
- 一人一人の小さな力が大きな流れとなり、好循環が生まれ、都市宣言が目指す野田市像の実現の根源が「スポーツの力」であるようスポーツを推進します。

これからの野田市のスポーツの推進に向けて



スポーツ Sports

基本目標 (第3次野田市スポーツ推進計画)

基本目標 1

健康 ~全ての市民が主役、生涯を通じてスポーツに親しむ~

「健康」があらゆる活動と、まちの活力の源です。
障がいのある人もない人も、子どもから大人まで、全ての市民一人一人がライフステージに応じた「する」スポーツにより健康増進を推進します。

基本目標 2

交流 ~スポーツイベントの開催や情報発信~

スポーツには連帯感を生む力があります。
スポーツに親しむ機会を創出することで、障がいのある人もない人も、子どもから大人まで、お互いにスポーツイベントを通じてつながりあい、地域の輪、絆を強め、地域の活性化のため、「する」「みる」だけでなく「ささえる」スポーツによる交流を推進します。

基本目標 3

環境 ~適切な役割分担と、適切な施設の整備・管理・活用~

全ての市民がスポーツに親しむには、環境が大切です。
市民の健康を支えるため、公共施設のより良い有効活用を絶えず検証するとともに、指導者の育成や情報提供など、各分野と協働しながらハード・ソフト両面からの適切なスポーツ環境の整備を推進します。

基本目標 4

文化 ~選手の育成、地域の連帯感や郷土意識の醸成~

スポーツ選手の活躍は、夢と感動を与えます。
わたしたちの野田市出身の選手であれば、なお一層の誇りや共感、愛着が生まれます。優秀なスポーツ選手の育成と支援をし、市民のスポーツへの関心を高め、野田市特有の文化として根ざすべく、「ささえる」スポーツを推進します。

これからの野田市のスポーツの推進に向けて



スポーツ Sports

(第3次野田市スポーツ推進計画)

「スポーツの力」で実現する 健康スポーツ文化都市 野田

- スポーツは、「する」ことによって楽しさや喜び、努力、向上心を生みます。「みる」ことによって感動や充足感を生みます。「ささえる」ことによって、思いやりや連帯感を生みます。こうした「スポーツの力」が、我々の生活や社会に活力を与えます。
- 障がいのある人もない人も、子どもから大人まで市民一人一人がスポーツによって健康で活力にあふれることにより、スポーツを通じた交流が生まれ、交流が野田市独自の文化へと深化し、将来を担う子どもたちへ継承していく。また、この流れの中で、一人一人が人間力を高めたい。
- 一人一人の小さな力が大きな流れとなり、好循環が生まれ、都市宣言が目指す野田市像の実現の根源が「スポーツの力」であるようスポーツを推進します。

スポーツ施策の展開と主な事業



スポーツ Sports

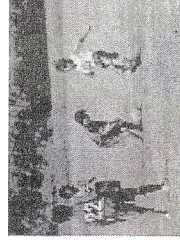
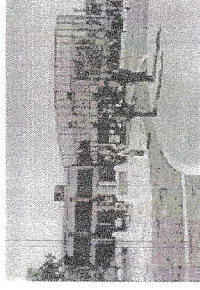
●子どもにおけるスポーツの推進

子ども館、公民館等における遊びの充実
学校での運動能力の向上
スポーツ少年団等への支援

児童センターとのスポーツ連携

NECグリーンロケッツ東葛による教室の開催

活躍記事等の市ホームページでの情報掲載



●大人におけるスポーツの推進

健康・スポーツポイント事業による運動の推進 健康・スポーツポイント事業の拡充
ウォーキングの奨励 野田むらさきの里ふれあいウォークの開催
ニュースポーツの普及 ニュースポーツ体験会の開催

●障がい者におけるスポーツの推進

障がいのある人のスポーツ参加の促進 パラスポーツ体験会の開催



健康・スポーツポイント事業による運動の推進

健康・スポーツポイント事業の拡充



令和5年度

野田市健康・スポーツポイント事業

実施期間

ポイントを貯める期間

2023 02.01 (水) ~ 2024 01.31 (水)

応募期間

応募用紙を提出する期間

2023 11.01 (水) ~ 2024 02.02 (金)

賞品
あり



クオカード券
1,000円

ポイントを貯めて最大3,000円分の賞品をゲット!

検診（健診）やイベントに参加してポイントを貯めて希望の賞品に応募しよう!

対象者

平成17年4月1日以前生まれ(18歳以上)で野田市に住民登録がある方

《台紙配布及び応募先》

保健センター、図書館センター、スポーツ推進課、各出張所、

総合公園体育館、開港総合公園体育館、各公民館

(郵送の場合) 令和6年2月2日の消印有効

〒278-0003 野田市鶴巻7-4 保健センター



詳しくはこちら →

野田市健康・スポーツポイント 検索

スポーツ施策の展開と主な事業



スポーツ Sports

●スポーツによる地域づくりの推進

全市的なスポーツ・レクリエーションイベントの開催 市民駅伝競走大会の開催

地域のスポーツ大会開催への支援 地区運動会開催の支援

プロスポーツチーム、大学、企業等との連携によるスポーツ推進

NECグリーンロケッツ東葛との協働によるイベントの開催
立教大学との協働による自転車を活用したまちづくりの検討

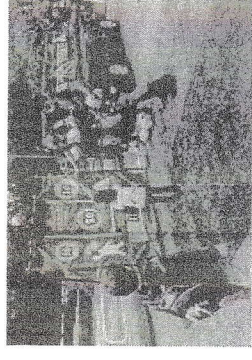


●「ささえる」スポーツの推進

スポーツボランティアの活躍の促進 ボランティア募集活動の支援

●魅力と情報発信の充実

市民による活動に関する情報発信の充実 スポーツ協会と連携した情報発信



スポーツ施策の展開と主な事業



スポーツ Sports

●スポーツ施設、空間の充実

状況に応じた施設の運営改善
施設の安全で適切な維持管理

サイクリングロードの案内看板の設置と新たなマップの作成
子どもの遊び（運動）場としての公園の適切な維持管理

施設の計画的な改修

福田体育館耐震補強及び大規模改修工事

総合公園野球場、庭球場、陸上競技場の整備

スケートボードパーク照明設置工事

総合公園体育館及び関宿総合公園体育館の計画的改修

サイクリングロードの整備



スポーツ施策の展開と主な事業



スポーツ Sports

●スポーツ施設、空間の充実

新たな施設整備によるスポーツの推進

旧関宿クリーンセンター跡地におけるスポーツフィールドの整備

遊休農地におけるスポーツフィールドの整備

パークゴルフ場の整備

鉄道高架下のスポーツ施設としての有効活用の検討

現有施設の有効活用や見直し

総合公園トレーニングルームを多目的ルームへ変更

総合公園水泳場のあり方の見直し

川間体育館の廃止の検討



スポーツ施策の展開と主な事業



スポーツ Sports

●体制と基盤の充実

スポーツ推進委員との連携

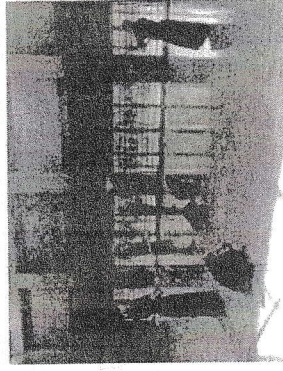
武道指導員や地域人材の活用

スポーツ指導やスポーツ行事への協力

武道指導員による柔道、剣道の授業の実施
部活動指導員と連携した部活動の実施

総合型地域スポーツクラブの認知度向上と参加の促進

スポーツ教室、体験会の開催協力



●スポーツを「知る」ことの推進

スポーツ事故等の防止知識の普及 救急救命講習会などの実施



スポーツ施策の展開と主な事業



スポーツ Sports

●アスリートの育成や支援

トップアスリートとの触れ合いの充実 プロチームによる観戦招待

トップアスリートの競技力の活用 トップアスリートによる技術力や指導方法の技術的指導

●アスリートの育成や支援

新たなスポーツ文化の醸成

優秀な選手育成支援の方法の研究

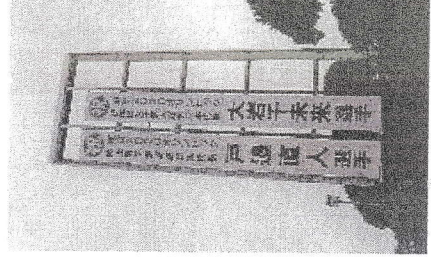
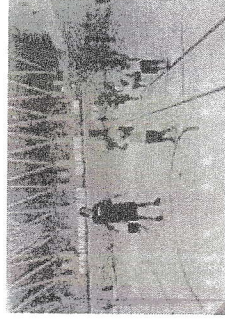
●野田市の特徴を活かしたスポーツ文化

野田市独自の「武道」

豊かな自然の活用

春風館道場の適切な管理、武道講演会の開催

自然環境を活用したスポーツの推進



●文化の振興施策

文化の振興施策

文化 Culture

「文化活動」で実現する 健康スポーツ文化都市 野田

郷土の歴史や伝統を学び、恵まれた文化や豊かな自然に誇りをもち、次世代に繋いでいきます。

19

「文化」とは

大別すると「文化芸術」と「文化財」に分かれます

〇文化芸術

人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであり、世界の平和に寄与するもの（文化芸術基本法から）

〇文化財

我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産（文化庁ホームページから）

文化の振興施策

文化 Culture

●生涯学習の推進

市民が仕事や生活の中で得た知識や技術を地域に還元していただき、個性ある地域文化を形成できるような仕組みづくりを行います。市民の生涯学習環境の整備を行うとともに、学習機会の拡充と支援に努め、身近な生涯学習の活動の場となる公民館や図書館等でのサービスの充実を図ります。

全ての市民が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するため、市民の文化活動を通じて人と人との交流を深め、豊かな心とからだを育む環境づくりに取り組めます。地域の文化芸術の向上を図るため、積極的に文化会館等の委託文化事業を展開し、優れた舞台芸術を始めとした様々な芸術文化に触れる機会を提供するとともに市民参加型事業等、創造性のある事業についても開催し、芸術、文化活動への啓発や、鑑賞能力の向上、文化を創造する人材の育成に努めます。

文化の振興施策

文化 Culture

●郷土愛を育む学習の推進

健康スポーツ文化都市宣言に基づき、全ての市民が、郷土で育まれた豊かな歴史や伝統、郷土の偉人、自然環境などを学び、郷土への誇りや愛着をもてるまちの実現に向けて取り組めます。そのため、野田市の伝統文化や文化遺産等の意義や価値を評価・認識し、適切な保存に努めるとともに、これらの伝統文化や文化遺産等を整備活用したまづくりにより、快適で心地よい生活環境を実現するために、文化遺産の整備等を体系的に進めます。加えて、郷土の歴史と文化を学ぶため、博物館機能の充実を図ります。郷土の偉人である鈴木貫太郎翁や関根金次郎十三世名人、山中直治先生などを顕彰するとともに、伝統文化や民俗芸能の保存及び伝承の支援に取り組めます。

また、今日の野田市が形成される歴史的過程や自然環境を的確に把握し、それらを明確にするための郷土資料や伝承文化の収集、整理、研究を行います。それらの市史編さん事業を推進し、その成果を市史として刊行するとともに、ホームページ等で公開することにより、地域に対する理解を深め、受け継がれた伝承文化や文化遺産を後世に伝えます。

文化の振興施策

文化 Culture

●主な施策

◆文化芸術

- 文化会館、櫛のホール・小ホールの委託文化事業（各種コンサート、寄席など）
- 野田市文化祭
- 公民館主催講座
- 高齢者向けスマホ講座
- 文化・スポーツ推進奨励金
- 生涯学習ボランティア育成事業
- オープンサタデークラブ

◆文化財

- 文化財の保存（旧花野井家住宅、中根八幡前遺跡、岩名古墳、関宿城跡、山崎貝塚など）
- 学校への文化財出前授業（縄文・古墳、鈴木貫太郎翁）、パネル展示巡回（縄文・古墳）
- 郷土博物館、市民会館の運営
- 鈴木貫太郎記念館の再建
- 市内発掘調査
- 民俗芸能のつどい
- 民俗芸能の後継者育成事業

文化の振興施策

文化 Culture

●新たな取組①

ü 鈴木貫太郎記念館の再建、所蔵資料の修復

鈴木貫太郎 (1868.1.18~1948.4.17)



第42代内閣総理大臣 (昭和20年4月7日~8月17日)

関宿藩飛地領の代官の長男として和泉国 (現・大阪府堺市) に生まれ、幼少期を関宿で過ごす。海軍軍人として日清日露の両戦役に従軍し、海軍大将まで昇進すると、連合艦隊司令長官や軍令部長などを歴任したのち侍従長に就任。侍従長時代に二・二六事件に遭遇し、瀕死の重傷を負うも奇跡的に回復し、一命を取り留めた。枢密院議長を経て、昭和20年4月に内閣総理大臣に就任すると、日本の終戦に尽力した。戦後は職を辞し、郷里の関宿に戻るが、吉田茂の要請で再び枢密院議長に就任し、憲法の改正に携わる。議長辞職後は、関宿の主要な産業となる酪農の普及に努めた。

なお、夫人のタカは、昭和天皇の幼少期に養育係を務めた人物である。

文化の振興施策

文化 Culture

ü 鈴木貫太郎記念館の再建、所蔵資料の修復

鈴木貫太郎記念館

終戦時の内閣総理大臣として日本を終戦に導いた鈴木貫太郎の業績を広く紹介するため、財団法人鈴木貫太郎記念会により昭和38年に旧宅の隣に開館。記念会のメンバーには、地元のほかに、千葉県知事や野田市市長、関宿町長など錚々たる顔ぶれが名を連ね、開館には、名誉総裁に就任した吉田茂元首相や元鈴木内閣の閣僚、経団連関係者らの尽力もあった。

その後は関宿町に移管され、現在は野田市が管理。令和元年の台風19号の影響及び耐震診断の結果により臨時休館中だが、ロビーにおいて小規模な資料の展示や映像資料の公開、副館長による解説を行っている。令和4年度に野田市鈴木貫太郎記念館建設準備委員会、5年度に鈴木貫太郎記念館建設準備担当を設置し、早期再建を目指し基本構想の策定、施設規模、建設費用等を検討中。併せて「最後の御前会議」などの絵画や刀剣などの所蔵資料の修復も順次進めている。



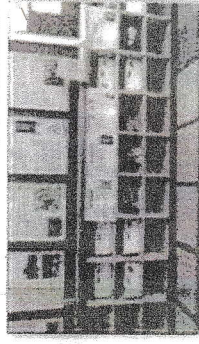
文化の振興施策

文化 Culture

●新たな取組②

ü 小学校に郷土資料室を順次開設

既存の記念室、郷土室、図書室を活用し、学校史を中心に地域の歴史、野田市の偉人や地域の出土品等をパネル等にまとめて展示、紹介。自分の通う学校や地域の歴史を学ぶことで、学校や地域に誇りと愛情を持つ児童を育てる。令和4年度は東部小学校に開設した。



ü 関宿城埋門の修繕

関宿城の三の丸に設置されていた門のひとつで、明治維新後の廃城に伴い民間へ払い下げられ、現在の場所へ移築された。門の鬼瓦には江戸時代中期から明治維新まで関宿藩主を務めた久世氏の家紋「久世鷹の羽」があらわれている。平成12年に野田市(旧関宿町)の『有形文化財』に指定された。経年劣化により傷みが目立ってきたことから、本年度修復工事を実施する予定。



文化の振興施策

文化 Culture

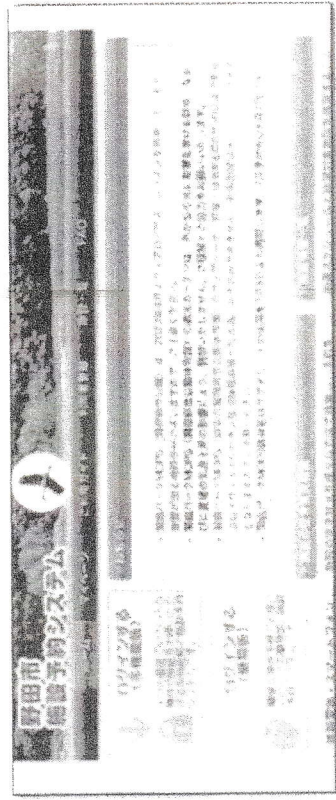
●新たな取組③

ü 公民館・生涯学習センターに公衆無線LANを設置

野田市公共施設公衆無線LAN整備方針に基づき、各公民館、生涯学習センターに設置。サークル活動などで利用できるほか、災害時の通信手段としても利用可能。

ü 公民館にインターネット予約システムを導入(8月～)

公民館で会議室等の利用を予約する際、窓口受け付けに加え、インターネットからも予約できるシステムを8月1日から導入。



文化の振興施策

文化 Culture

●新たな取組④

ü 文化財保存活用地域計画の策定

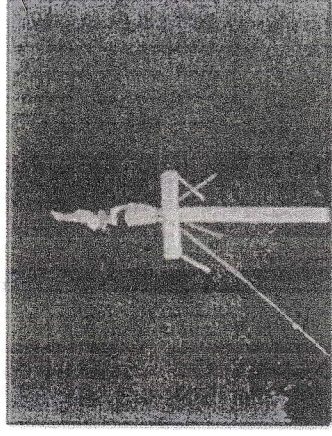
文化財の保存及び活用に関する総合的な計画である野田市文化財保存活用地域計画を策定中。

ü 文化芸術活動推進奨励金の拡充

市民の文化芸術活動を積極的に推進するため、文化芸術活動推進奨励金を制定し、交付基準を拡大。

○ 関東規模の大会出場者・団体に対して奨励金を交付

○ 遠方の大会出場には交付額を増額 など



●福祉の振興施策

高齢者・障がい者の健康、スポーツ、文化

健康 Well-being

介護予防10年の計

10シルバリーハビリ体操

介護予防10年の計の中心となる体操で、
道具を使わず、どんな場所でも、どんな姿勢
でも(立ってでも、座ってでも、寝てでも)行
うことができる体操。



○体験教室 市が各公民館において開催

40回 411人の参加(令和4年度)

○体操教室 シルバリーハビリ体操指導士が実施

12回 (令和5年6月予定)

○シルバリーハビリ体操初級指導士養成講習会

シルバリーハビリ体操初級指導士を500人養成することを目標に実施 211人

高齢者・障がい者の健康、スポーツ、文化

健康 Well-being

介護予防10年の計。

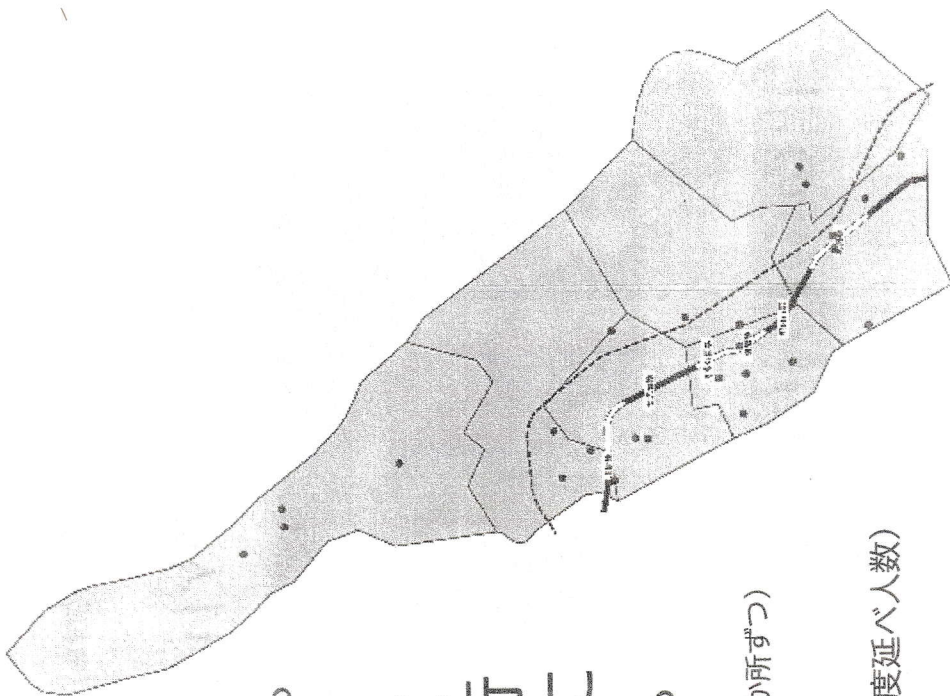
10 えんがわ

地域の高齢者の方々が中心となって、
地域の方々々と触れあう通いの場。

集会所などで、体操などの軽運動や、お茶を飲みながらの歓談、趣味活動など、様々な活動を行い、人と人とのつながりを通じて高齢者の社会における孤立の防止を図ることを目的としている。

市内40か所の開設を目指す（各小学校区に2か所ずつ）

28か所開設中 4,496人の利用（令和4年度延べ人数）



高齢者・障がい者の健康、スポーツ、文化

健康 Well-being

介護予防10年の計

【 】のだまめ学校

保健センター4階

野田市内全域がキャンパスです！

本講座・出張本講座

保健センター4階、出張本講座は市内の公共施設が会場。
お好きな講座を無料で自由に受講できる。
お申込みや予約は不要。

のだまめ
学校って？



健康づくりや介護予防について一緒に学びましょう

どんなこと
するの？

運動不足、体力低下の予防には…

・スツキリストレッチ、ウォーキング講座 など

脳を活性化したい方には…

・脳力アップ講座、認知症予防の栄養講座 など

38種類もの
講座を展開

高齢者・障がい者の健康、スポーツ、文化

スポーツ Sport

千葉県障害者スポーツ大会 (陸上競技)

県は、障がいのある人がスポーツの楽しさを体験し、体力の維持・向上、精神面での充足を図ること、障がいのある人への理解を深め、障がいのある人の自立と社会参加を推進することを目的とした県内最大の障がい者スポーツの祭典「千葉県障害者スポーツ大会」を開催。

また、全国障害者スポーツ大会千葉県代表選手の選考において記録を参考にしている大会で、野田市チームとして、毎年参加。

おひさまといっしょに

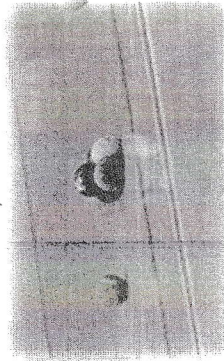
障がいのある人となない人の交流を促し、ともに地域社会で生きる一員であるという相互理解を深めることを目的とし、おひさまといっしょに”が開催。(今年は、6月17日(土)に開催 第49回)

ニュースポーツ体験 (福祉のまちづくりフェスティバル)

障がい者・高齢者等を取り巻く環境や問題をよりよく理解していただくために、参加団体の活動紹介や疑似体験等を主体とした「福祉のまちづくりフェスティバル」において、ボッチャとフライングディスクなどの競技体験会を開催。(今年は、11月19日(日)に「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2023」で開催予定)



関宿パークMOPS (関宿総合公園)



高齢者・障がい者の健康、スポーツ、文化

文化 Culture

サンスマイル

障がいのある人もない人もノーマライゼーションの考え方のもとみんなが一緒に楽しむ場。

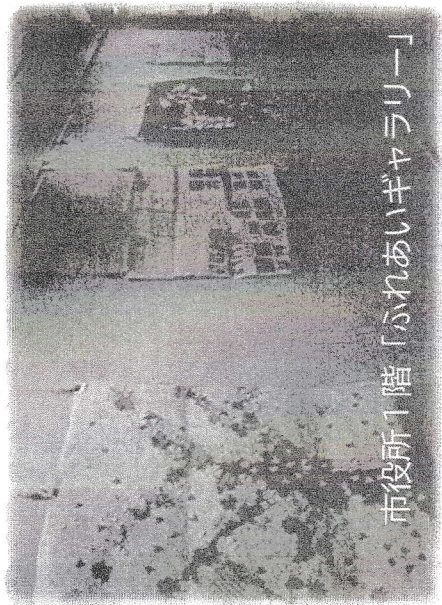
合唱やダンス、手話コーラス、演奏等を障がいを持つ人も持たない人も同じ舞台で発表し、市民も広くボランティアとして活動・公演に参加。公演を通して、障がいを持つ人には文化芸術活動を行う意欲の喚起や、障がいのない人には、障がいがある人への理解促進を目的。

(今年も、7月25日(火)開催予定)



こころの作品展

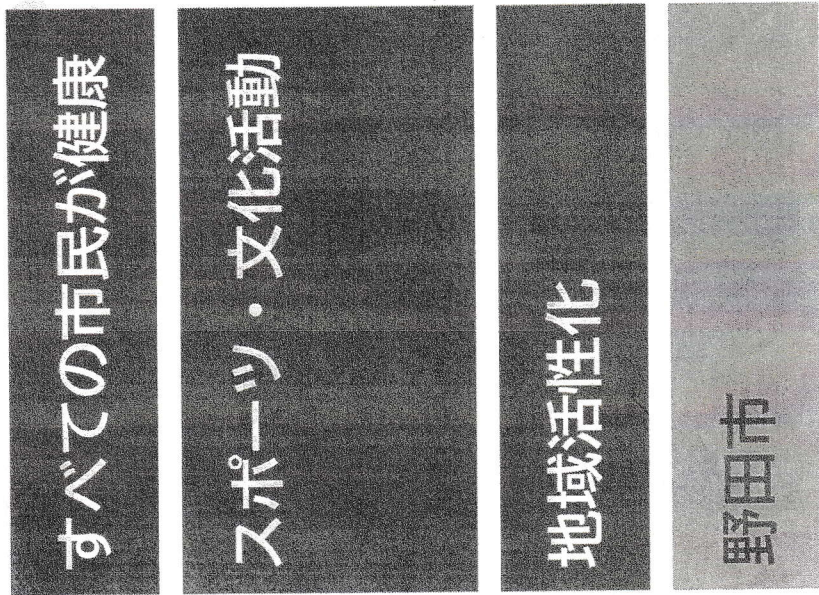
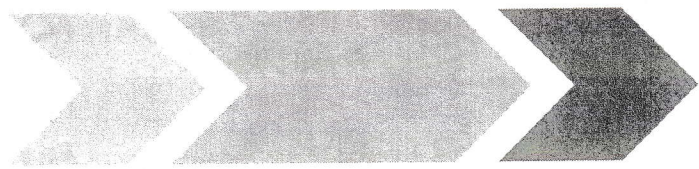
市民への精神障がいに対する理解等を目的とした「こころの作品展」を、障害者週間※に合わせて実施。



※障害者週間：12月3日から12月9日までの1週間

●最後に

都市宣言により、「野田市独自の特色」を強く発出し、すべての市民の生活に潤いをもたらすとともに、地域の活性化を図ります。



- ・多様なスポーツを気軽に楽しむ
- ・まちの活力の源
- ・人として成長し、人間力を高められる
- ・豊かな歴史や伝統、郷土の偉人、自然環境などを学ぶことにより、郷土への誇りや愛着が芽生え育まれる
- ・人と人との交流を深め、多くの仲間とふれあう
- ・明るく生き生きとした地域の輪
- ・夢のある住みよいまち
- ・元気で明るい家庭を築けるまち ☆☆